

図書館だより

Information Wave No.28 2017年

第28号 2017年8月20日発行

関西福祉大学図書館

〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3 Tel.0791-46-2506 Fax.0791-46-2535



図書館長
発達教育学部 教授 大山 摩希子



図書館がいつ誰の手によって始められたかは、実は明らかではありません。今のところ、メソポタミアの古都において王宮跡から複数の粘土板が見つけ出され、それが図書館の最初であるとも言われています。しかしながら、当時の図書館とは、誰もが手軽に本を手にする場所ではありませんでした。情報とは一般に広く伝えられるものではなく、限られた身分の者だけが手にすることができる「権力」の象徴であったのです。現在、私たちの周りには本が溢れ、その気になりさえすれば大抵の情報は手に入れることが可能です。しかし、残念なことに、子どもたちの本離れが指摘され、それは大学生の皆さんについても同様でしょう。図書館の役割は色々あります。狭溢化への対策となる情報のデータ化、データ化された情報を有効に利用できるツールの整備、学習ステーションとの連携、図書館内の共同スペースの有効利用、そして、学びの場所として環境を整えること、などです。しかし、いくら体制を整えたとしても、皆さんの興味が本へ向けられない限り意味がありません。

皆さんは、「実質陶冶」や「形式陶冶」という言葉を知っていますか。例えば、数学の学びにおいて、公式や問題のパターンの記憶に重きを置く場合と、ロジカルシンキングの獲得に重きを置く場合があります。つまり、そのまま数学の成績に結びつく学びと、少し遠回りのように見える汎用性の高い学びです。心理学では、前者を「実質陶冶」、後者を「形式陶冶」と考えます。皆さんも、ボランティアやアルバイトに、将来の有効性を見越して着手することがありますね。これも「形式陶冶」と考えてよいでしょう。本を読むことも同じなのです。個々の本の情報はすぐに役に立つものではありません。本から得た情報は時間をかけてネットワーク化され、より柔軟で汎用性の高い構造が作られていきます。それこそが「知識」であり、皆さんの人生を支える「閃き」や「問題解決」の源になるのです。近道はありません。読み続けるしかないのです。

本学の附属図書館の蔵書数は、決して多くはありません。ですが、開学以来 20 年の歳月をかけて本学の学生さんのために厳選されてきました。棚に並ぶ背表紙を目で追うだけでも楽しいと思います。先生方が紹介される推奨本を読破してみるのも良いでしょう。「時間がない」というのは言い訳です。本を読む時間を惜しんではいけません。時間があれば図書館に来て、背表紙を眺めてみて下さい。お待ちしております。



近刊著書

自分の将来を考えている"あなた"へ これがソーシャルワークという仕事です
— 尊厳を守り、支え合いの仕組みを創る —

社会福祉学部 学部長・教授 **中村 剛**



著者：中村 剛
出版社：みらい
発行年月：2016年9月

本書は、社会に不可欠であるにもかかわらず知られていない「ソーシャルワーク」という仕事を、高校生を中心に、多くの人に知ってもらうために執筆されました。内容は「第1部：学生とソーシャルワークの間に橋を架ける、第2部：これがソーシャルワークです、第3部：ソーシャルワーク教育によって身につく力、第4部：私はソーシャルワーカーです」から成ります。特徴としては、①ソーシャルワーカーが対応する問題およびソーシャルワーカーの活動や魅力を、現役のソーシャルワーカーがまとめている、②ソーシャルワークの本質を、正義という観点も踏まえまとめている、③ソーシャルワーク教育で身につく力を専門の力だけでなく、その基盤となる教養の力についても詳しく説明している、といった点が挙げられます。

こうした内容は、高校生だけでなく、新たな知見も盛り込まれているという意味で、学術書の側面も併せ持っています。社会福祉演習Ⅰのテキストにもなっていますが、より多くの人に読んでもらいたいと思っています。

人間関係ハンドブック

社会福祉学部 准教授 **谷川 和昭**



著者：谷川 和昭ほか(共著)
小山 望、早坂 三郎(監修)
日本人間関係学会(編)
出版社：福村出版
発行年月：2017年3月

一般社団法人日本人間関係学会の25周年を記念した出版物です。執筆者総勢41名、B5版、総頁280頁、全9章(58項目)と豪華です。

第1章は、「人間関係の基礎的諸理論」です。基本的な人権その他について概説されています。第2章は、「人間関係の心理」です。自己理解、対人心理、家族・職場、地域の視点から概説されています。第3章は、「人間関係の発達」です。ライフサイクルを軸に概説されています。第4章は、「教育と人間関係」です。就学前保育、小学校・中学校・高校・大学をテーマに論述されています。第5章は、「福祉・医療の分野における人間関係」です。福祉分野、医療分野におけるさまざまな問題への実践例を取り上げて論述されています。第6章は「地域における支援活動」です。コミュニティと人間関係づくりの実践などを報告されています。第7章は、「人間関係の改善に関するカウンセリング的アプローチ」です。心の問題や関係修復・改善など諸理論と具体例を挙げて報告されています。第8章は、「被災地における人間関係のアプローチ」です。学会員の実践例をもとに報告されています。第9章は、「人間関係士」です。学会の認定資格である人間関係士の概要や人間関係力などを報告されています。

人間関係学のさまざまな研究、全貌を概観されたい方にオススメです。

図書館活用講座

図書館資料の探し方

図書館で本を探すとき、みなさんはどうしていますか。適当に書棚を見て回ってみる？
図書館にはたくさんの書棚があるので、それではなかなか求める本にたどり着けません。
ではどうすれば効率的に本を探せるでしょうか。ここではその方法をご紹介します。

1. OPACで資料を検索しよう

館内の蔵書検索用PCまたは図書館ホームページから「蔵書検索システム(OPAC)」にアクセスし、調べたい事柄の「キーワード」、「タイトル」や「著者名」等を入力することで資料を検索することができます。





新しい日本の歌 8

発達教育学部 教授 古瀬 徳雄



著者：古瀬 徳雄(作曲)
出版社：マザーアース
発行年月：2016年11月

ひょうご日本歌曲の会「新しい日本の歌8」（兵庫県立芸術文化センター）で初演された2曲が楽譜となった。

佐伯圭子の「今日の歩行 -Walking under Cherry Trees-」「悲しい -Tomorrow will come soon I hope-」の2詩に作曲した。両詩に共通して流れている時間の推移、質の異相を、音楽を通して情景が目に見えかぶるように組み立てた。

「今日の歩行」では、さくらの樹下にたたずむと、樹皮まで紅に染めながら、その移ろいは日々その姿を異にしていく。歩みを近づける自らも変わっていく。この経過を音楽の時空間の中で、開花、散花に合わせたフラットの増減の転調により、多様な調性を駆使することで、状況の変化、異時の表現の根拠とした。

「悲しい」は、人生を振り返ると「間違っていたと思うのは悲しい」とあるが、悲しみを時間にとどめるのではなく、それを希望に導くために急速な変拍子を軸とし、音の暗転にあたる休符と、ソプラノとピアノ声部に予期できない鋭い短音を配置し、未来への瞬間的着地を試みた。

緩急の異なる時間の多彩な手法をとることで、奏者の個性が融和し、見事な演奏となり、楽想が聴き手に伝わったのである。

心理学概論

発達教育学部 准教授 大和田 智文



著者：大和田 智文ほか(共著)
榎本 博明、古澤 照幸(編著)
出版社：おうふう
発行年月：2017年3月

本書は、認知、発達、社会、臨床という心理学における主要領域の伝統的な知見から最新のトピックまで、初学者にも容易に理解できるように編まれた心理学の概論書である（全13章構成）。「感覚・知覚」「学習と動機づけ」「記憶・思考・言語」「発達（発達段階ごとに5章分に相当）」「パーソナリティ」「対人関係」「個人と社会」「組織・集団」「心の臨床」からなる各章とも必要な情報が精選されているので、心理学を体系的に学びはじめたばかりの初学者にとっても大変使いやすいものとなっている。

紹介者担当部分は、第11章の「個人と社会」である。本章では、個人と社会との有機的な結びつきについて、伝統的な知見や最新の例などを示しながら分かりやすく解説している。具体的には、人は自身の集団や社会をどのように捉え認識するものなのか、また、そうした集団や社会から人はどのような影響を受け、集団や社会に対しどのように反応するものなのか、といった疑問に対し、日常的にみられる現象をもとに詳解している。

本書をひとりでも多くの方が手にされて、「心理学」の楽しさを発見したり新たな研究課題を創出することに繋がれば嬉しく思う。

2. 書棚から本を探そう

OPACで検索した資料の「タイトル」「著者名」「請求記号」をメモし、書棚に資料を探しに行きましょう。資料は「請求記号」の順番に並んでいます。「請求記号」と図書館内に設置している「配架図」を元に、資料がどの書棚にあるか特定してから探しに行くと、スムーズに探し出せます。「これかな？」という資料が見つかったら、「タイトル」「著者名」等で探していた資料かどうか確認してください。

請求記号とは

資料が並べられている場所を示す記号のことです。

資料の背表紙に貼られた「背ラベル」に書かれており、図書館では資料をこの「請求記号」の順番に並べています（一部例外あり）。

請求記号	
364	→分類記号
Go1	→著者記号
	→巻冊記号

分からないことがあったら
図書館内カウンターで
相談してね！



自己形成の心理学

— 他者の森を抜けて自己になる —

発達教育学部 准教授 三木 澄代



著者：溝上 慎一
出版社：世界思想社
発行年月：2008年10月

本書は、自己形成の根源に他者があり自己が他者を通して形成されることを、青年期までを中心に論じています。子どもに自己意識が芽生えているかどうかは、鏡に映された自分を自分だと認識できるかどうかで知ることができます。私たちは何かを経由しなければ自分の全体像を認識できません。不登校・ひきこもり・いじめ・暴力・自殺等の問題の理解と、「自己」(個)と「他者」(自分以外の人・人の集団)への対応を考えるときの手がかりにもなると思います。

専門看護師の思考と実践

看護学部 教授 竹村 淳子



著者：井部 俊子、大生 定義(監修)
専門看護師の臨床推論研究会(編集)
出版社：医学書院
発行年月：2015年6月

この本は、各分野の専門看護師が執筆された本です。本書の魅力は、理想論だけではなく、患者さんやご家族の厳しい現実を目の当たりにした看護師が、悩み、考え抜く姿が描かれているところです。この本には24の事例に対する実践が紹介されていますが、教科書だけではイメージできないすばらしい実践が描写され、看護とはこんなに奥深いものかと考えさせられます。実践のレベルは専門看護師ですが、表現がわかりやすく、学部の学生にとっても「看護とは何か」が具体的に伝わるのではないかと思います。

死に逝く人は何を想うのか

— 遺される家族にできること —

看護学部 講師 石田 和雄



著者：佐藤 由美子
出版社：ポプラ社
発行年月：2017年1月

この本は、ホスピス緩和ケアを専門とする米国認定音楽療法士として日米でご活躍されている佐藤由美子さんの音楽療法を通じた看取りの活動を紹介している。元来、「看取り」という言葉は日本独自の文化から派生した表現であり、海外ではそのような表現はしない。佐藤さんは「看取り」とは表現せず、新たなステージへ向かう為の「見送り」と捉えている。佐藤さんは今も音楽療養士として千人以上を見送られ、そのご縁から死に逝く者の想いや遺される家族の想いをわかり易く紹介されている。百人百通りの生き方があれば、それと同様に逝き方もある。生きること、そして、死ぬことの意味を音楽療法士の視点から問いかけてくれた一冊である。

発達段階からみた小児看護過程

+ 病態関連図第3版

看護学部 助教 遠藤 洋次



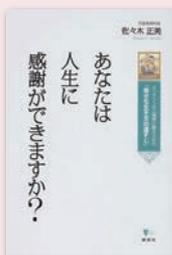
著者：浅野 みどり、杉浦 太一、山田 知子(編集)
出版社：医学書院
発行年月：2017年3月

小児看護では、新生児期から思春期と非常に幅広い年齢層を対象としており、実習において、それぞれの発達段階や疾患に合わせた看護過程を展開することはとても大変だと思います。この本では、各発達段階における子どもの特徴やケアのポイントを示すだけでなく、代表的な疾患の病態や、特徴的なものも含めた治療の知識、及びアセスメントの視点が示されています。また、看護過程の展開についても詳細にフローチャートで示されており、小児看護を展開していく上で基本となる知識、看護過程の展開力を学べると思います。ぜひ、日々の学習や実習への備えとして活用してください。

あなたは人生に感謝ができますか?

— エリクソンの心理学に教えられた「幸せな生き方の道すじ」 —

看護学部 助教 常国 良美



著者：佐々木 正美
出版社：講談社
発行年月：2012年10月

本書は児童精神科医、また、大学特任教授として、大きな功績を残されました、佐々木正美先生がエリクソンのライフサイクル・モデルについて、自分の経験を踏まえながら分かりやすく述べておられます。各期の発達課題をどの様に捉え、克服していくのか、そして人と人との関わり大切さについて教えてくれるこの本は、どの年齢においても自分の生き方についてを改めて考えさせてくれます。特に、乳児期の「基本的信頼」の重要性や、老年期の「世代性を生きること」については、道しるべとなる内容です。是非、悩んだときや転機を迎えた時に手に取ってみてください。

どの本も図書館に
所蔵しています！
ぜひ手に取って
読んでみて下さいね。





学生のおすすめ本



京都寺町三条のホームズ

社会福祉学部 4年 大野 恵梨華

著者：望月 麻衣
出版社：双葉社
発行年月：2015年4月

〈学生作成POP〉



2016年度の京都本大賞を受賞した作品です。
京都の寺町三条商店街にボツリとたたずむ骨董品店『蔵』。店主は『寺町のホームズ』と呼ばれている家頭清貴。
主人公・真城葵はひよんなことからその店でアルバイトをすることとなり、清貴がホームズと呼ばれている理由を目の当たりにします。
清貴のもとには様々な客から奇妙な依頼が舞い込みます。ミステリーですが、登場人物の関係性も面白く、京都の町に行きたくなります。

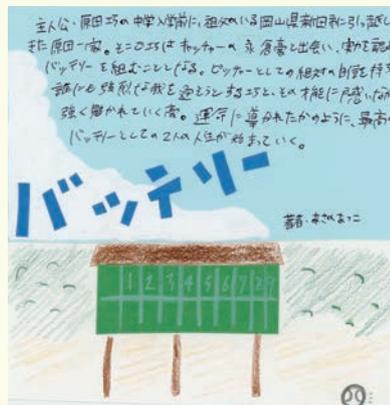


バッテリー

社会福祉学部 4年 端戸 祐太

著者：あさの あつこ
出版社：角川書店
発行年月：2003年12月

〈学生作成POP〉



主人公・原田巧の中学入学を前に、祖父のいる岡山県新田市の引越してきた原田一家。そこで巧はキャッチャーの永倉豪と出会い、実力を認めてバッテリーを組むことになる。ピッチャーとして絶対の自信を持ち、誰に対しても強烈な我を通そうとする巧と、その才能に戸惑いながら強く魅かれていく豪。運命に導かれたかのように、最高のバッテリーとしての2人の人生が始まっていく。
この本は、野球に詳しくない方でも楽しく読める本です。ぜひ読んでみてください。

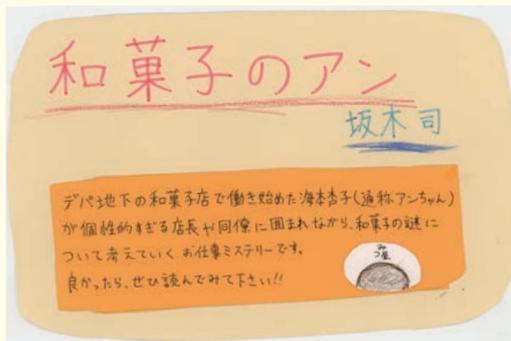


和菓子のアン

社会福祉学部 2年 中田 乃愛

著者：坂木 司
出版社：光文社
発行年月：2010年4月

〈学生作成POP〉



この本は、デパ地下の和菓子店で働き始めた18歳の少女梅木杏子が個性的すぎる店長や同僚に囲まれながら、お客様の運んでくるちょっとした謎を解決していく話です。
本を読んでいる内に、和菓子についての知識が自然と身につくととても面白いです。
他にも、登場人物一人一人が魅力的で、本を読んでいる、この和菓子屋さんに行ってみたくと思うようになります。
良かったら是非読んでみてください。



恋文の技術

発達教育学部 4年 難波 和也

〈学生作成POP〉

著者：森見 登美彦

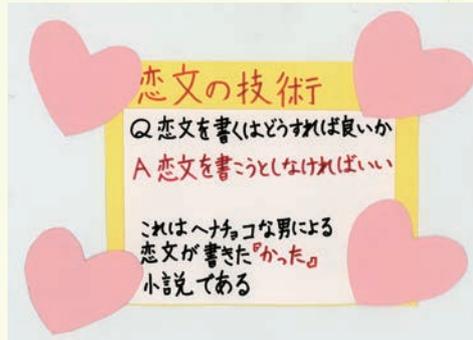
出版社：ポプラ社

発行年月：2011年4月

京都の大学から能登半島にある研究所へと飛ばされた大学院生の守田一郎。自分という大黒柱を失った京都を心配しつつ、日々クラゲを観察している彼には夢があった。それは、手紙一本で女性を籠絡する「恋文の技術」を習得し、恋文代筆のベンチャー企業を興すこと。文通修行と称し、友人・先輩・妹にむけて大量の手紙を書き始める。

一筆啓上。文通万歳！

ほんのり苦くて、ちょっぴりおかしい。最高の書簡体小説です！



博士の愛した数式

社会福祉学部 3年 浅井 光

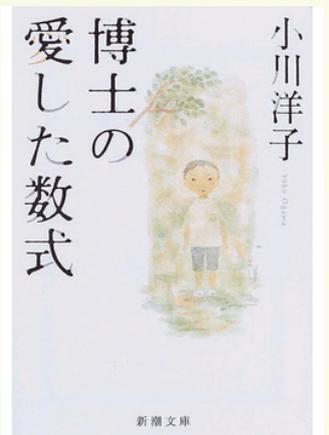
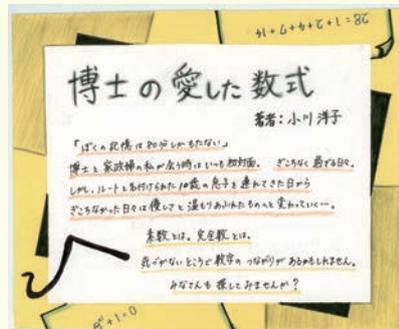
〈学生作成POP〉

著者：小川 洋子

出版社：新潮社

発行年月：2005年12月

家政婦の私は、とある老数学者の家政婦となった。私と息子は彼のことを博士と呼び、彼は息子をルートと呼んだ。博士はよく言葉の代わりに数字を持ち出す。背広には[僕の記憶は80分しかもたない]というメモが留められていた。読み進めるうち、悲しくも心温まる物語です。いつも初対面となる関係とどう向き合っていくか。80分毎に記憶がリセットされる度、自分のメモを見て何を思うか。数字が苦手でも面白さが伝わる1冊です。



再生

社会福祉学部 2年 中村 愛里沙

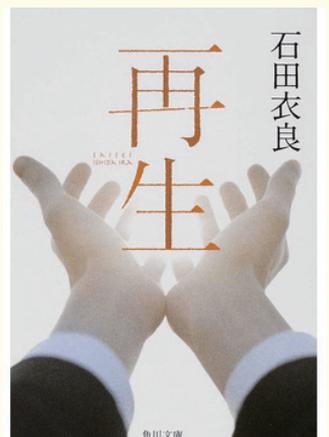
〈学生作成POP〉

著者：石田 衣良

出版社：角川書店

発行年月：2012年6月

この本は1つずつが短編小説になっていて、12人の主人公が登場します。1つ1つの物語には妻を自殺で亡くし息子を一人で育てる父親、リストラ、失恋等様々な出来事が起こります。このような中で、主人公達の心の中で揺れ動く葛藤、切なさ、悲しみ、喜びが鮮明に描かれています。本を読み進めていくうちに、主人公たちが迷いながらも前へ進もうとする姿には胸がいっぱいになります。本当の幸せとは何なのか、そして本の題名「再生」に込められた思いとは、たくさんのことについて考えさせられる素敵な1冊です。



図書館の取り組み

古本掘り出し市 with 赤穂高等学校図書部

(協力：赤穂警察署、赤穂市民病院)

2016 年度汐風祭において、本学図書館と兵庫県立赤穂高等学校図書部との共催、赤穂警察署、赤穂市民病院のご協力により古本市を開催しました。

この日のために提供された本や雑誌、保存期間を過ぎた図書館資料など 3,570 点を図書館内にそろえ、2 日間で 778 点を販売しました。収益金 41,850 円全額を全国学校図書館協議会へ、また、本の一部 (19,702 円相当) を「ホンデリング〜本でひろがる支援の輪〜 / 全国被害者支援ネットワーク」へ寄付しました。



学生選書

「学生選書」とは学生の目線で図書館に置く本を選ぶ企画です。1 年に 2 回、社会福祉学部・発達教育学部・看護学部あわせて計 12 組の学生がおすすめの本や読みたい本を選び、POP を作成しています。これまでに「火花 / 又吉直樹著」や「置かれた場所で咲きなさい / 渡辺和子著」などが選ばれ、貸出回数も多く人気の高い本となりました。

情報発信

図書館データ

- 蔵書数 74,163 冊 (うち外国書 9,907 冊)
- 年間受入図書 1,147 点
- 年間受入雑誌数 229 種 (うち外国書 80 種)
- 年間受入新聞種数 12 種 (うち外国紙 3 種)
- 視聴覚資料 3,261 点
- 年間館外個人貸出 12,097 点 (うち学生貸出冊数 9,252 冊)
- 年間入館者数 43,256 人
- オンラインデータベース 10 種
- 開館時間 授業日・平日 9:00-21:00、
土曜日 9:00-17:30

(2016 年 3 月 31 日現在)

学食 de 朝読書

2016 年 12 月～ 2017 年 1 月の毎週水曜日 8:50～9:50 の間、図書館の本や雑誌の一部を食堂へ持ち出し、貸出・返却に対応しました。図書館にあまりなじみがない学生にも本を紹介することができ、貴重な機会となりました。

赤穂市立図書館との共同展示を行いました。

赤穂市立図書館・本館共同で「テーマ：おすすめえほん」で選書された絵本を各館にて 2017 年 7 月 1 日～20 日の間展示しました。「ぐりとぐら」「おおきなななぶ」などに学生が作成した POP が添えられ、華やかな展示となりました。

お問い合わせ先 TEL : 0791-46-2506 (図書館)

図書館ホームページ <https://www.kusw.ac.jp/general/affiliated/library>

編集後記

今回、図書館だよりでは初めて、図書館資料の探し方やコラムを掲載しました。この図書館だよりを読んだことを機に、これまで図書館に馴染みのなかった方にもご利用いただけるようになれば幸いです。また、「図書館について他にも紹介してほしいことがある」「今回紹介されなかったけれど、この表示はどういう意味なの?」といったご要望・疑問等がありましたら、図書館職員に気軽に声をかけてください。

最後になりましたが、今回も教員・学生の皆様に様々な本をご紹介いただきました。ご協力いただきありがとうございました。〈S〉